

もり上がる山々、削られる峡谷 - 赤石山地のダイナミズム -

講師 **村松 武**

(本館専門研究員)



赤石岳山頂の一等三角点
(2015年10月6日撮影)

中部山岳地帯は過去100万年間に起伏が大きくなった地域である。中でも赤石山地は今でも隆起し、100年間で30cm以上も高くなった。明治期から行われてきた水準測量の成果などから、赤石山地の隆起と侵食のダイナミズムを探りたい。



講師プロフィール

1959年名古屋生まれ。高校時代から山歩きをするようになり、静岡大学理学部地球科学科に進んで赤石山地南部をフィールドとした。その後、名古屋大学で2年間学んだ後、1986年に半田空の科学館に就職。1988年に飯田市美術博物館に転職して現在にいたる。

日時

6月13日(土) 13:30 ~ 15:00

**オンライン
同時配信**

会場

飯田市美術博物館 講堂

**聴講
無料**

対面・オンラインとも、申し込みが必要です

美博会場での聴講をご希望の場合

5/28(木)から受付開始 **定員60名**

お電話(0265-22-8118)にてお申し込みください(受付時間:9:30~17:00)

- ・申し込みの際に、①講座名 ②氏名 ③電話番号 をお知らせください。
- ・メール、FAXでの申し込みはできません。
- ・キャンセルのご連絡はお早めをお願いします。

オンライン聴講(ZOOM)をご希望の場合

5/13(水)から受付開始 **定員90名**

ZOOMでの同時配信になります。下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

https://apply.e-tumo.jp/city-iida-nagano-u/offer/offerList_detail?tempSeq=71547

